

(学年) 第3学年、(教科・科目) 地理歴史・地理B

協同学習

(単元) 現代世界の諸地域 ヨーロッパ

(本時のねらい)

イギリスが離脱した背景について、諸資料を読み取り考察する活動を通して形成した自分達の考えを、授業支援クラウドアプリを使い表現することにより、全体で共有することができる。また、他国との関係性よりも自国を優先しようという動きが世界で出てきている現状を認識し、ヨーロッパだけでなく世界が平和を維持するためには、どうすればいいのかを考察することができる。

(ICT活用方法)

全体を通して授業支援クラウドアプリを使用することで進行していく。

導入：ヨーロッパに関する知識をプリントや授業支援クラウドアプリ内の成果を確認しながら、イギリスがEU離脱を目指した背景を各自で考察する。

展開：離脱を決める投票の世代間の特徴の理由をグループで話し合う。

論理的に複数の資料から考えて、授業支援クラウドアプリの班別作業ページにまとめて発表する。

まとめ：授業支援クラウドアプリ内で各自やグループで考えたことを、電子黒板で示しながら意見を共有し、世界の平和に向けての行動を考える。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 10分	・ヨーロッパ地誌について、学んできたことを確認し、各自でイギリスが離脱を目指した理由を考える。	・何を今まで学んできたのか、確認させたうえで、本時はイギリスのEU離脱に関する事を取り扱おうと説明する。	・ヨーロッパに関する授業プリントや授業支援クラウドアプリを用いた学習を振り返る。
展開 30分	・資料から、投票の世代間の特徴をグループで考察する。 ・教科書、資料集、配布	・資料『EU離脱を問う国民投票の結果』を考察させる際に、世代間の格差に着目させ、若者はあまり投票に行かなかったのではないかと投げかけ、若者の投票の重要性に気付かせる。 ・既習の知識や授業で話	・論理的に複数の資料から考え、グループで積極的に意見を述べながら、授業支援クラウドアプリ内の班別作業に記入させて、班として発表する。 ・授業支援クラウドアプ

	資料等、複数の資料を用い、グループで離脱理由を考察する。	したことを思い出させる。また、適切に資料を選び論理的に考察し、まとめるように促す。	り内の資料を参考にしたり、インターネットで検索したりして考察する。
まとめ 10分	・改めて世界の平和に必要なことを考える。	・ヨーロッパ地誌を通して学んだことを踏まえて、世界を見た際にも何が必要か考えさせる。	・授業支援クラウドアプリ内で授業中まとめたものを使い、全体で振り返る。

(授業の様子)



グループで考察



グループで共有

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

地理Bの学習方法と、授業支援クラウドアプリなどのICT機器の活用力が2年間を通じて向上したこともあり、事前学習から段階を経ながら知識の定着やグループ学習が進んだ。ICTツールは多様な意見の集約と他者との共有を可能とするため、興味関心が高く楽しみながら、生徒が前のめりで学習に向かうことができる場面を多くもつことができた。しかし、どうしても機器の活用力の差で素早くできる生徒と時間がかかる生徒の時間差は、紙媒体での授業より開く傾向があった。紙媒体と同様に使用できるようにするには、一人一台端末専用のペンが必要であると感じた。